

瀧山神社

都井岬から恋ヶ浦を通り過ぎ、日南方面へ向かう名谷トンネルを抜けた先に、瀧山神社（名谷神社）があります。目印は白く大きな鳥居。森に囲まれた未舗装の道路を、2キロほど進み続けること十数分、突然辺りが開け、本殿へ続く階段が姿を現します。周囲を取り囲むのは、杉やイチヨウをはじめに、樹齢100年を優に超える天然林。瀧山神社の風致保存のため、昭和44年から、重要な資源として保護されてきました。

階段を登りきると鮮やかな赤色の境内が姿を現します。

奥には小さな滝があり風や水の音、鳥のさえずりといった自然の音に包まれる神秘的な場所です。かつては航海の安全や大漁、豊作祈願に市内外全で参拝客が訪れていたといいます。

市内有数の秘境として密かに佇んでいます。



「串間市で得られた気づき」

7月8日から約1週間、私たち4人は、国家公務員の初任研修の一環で串間市を訪れました。宮崎空港から電車に揺られながらきれいな海と山の景色を眺め串間駅に着いた時には、家を出てから約8時間が経過していました。期待と不安を胸に足を踏み入れた串間市で過ごす5日間で、私たちは串間の魅力に引き込まれていきました。

串間市を訪れて最初の印象は、「食べ物が非常においしい」です。研修初日に食べた「ぶり丼」はぶりのおいしい食べ方を全部乗せたぜいたくな丼でした。とてもボリュームがあるにもかかわらず、女性メンバーもおかげを考へるほどです。ほかにもマンゴーや焼き芋、焼酎とおいしいものばかりと出会いました。そんな串間市は魅力的な产品ばかりですが、生産している方たちや市役所の方からは「高齢化」や「担い手不足」といった声を多く耳にしました。東京で働いている時も課題として認識はしていましたが、これらの課題解決の重要性と緊急性を再認識したと同時に、この素晴らしい产品をなくすことは絶対に避けたいと感じました。それだけではなく、都井岬や幸島といった観光資源も豊富で、串間市でしか見られない景色がたくさんありました。その観光資源を活かした施設も整備されており、呼び込み体制は整っています。しかし、そこにも「人口減少」や「交通の不便さ」などの課題も感じられ、貴重な資源の維持の大変さを知るとともに、維持のための魅力の効果的な発信など施策を考えていかなければならぬと感じました。

■石川 龍太
経済産業省貿易経済安全保障局経済安全保障政策課所属。茨城県出身。旅行と甘いものが好き。串間で食べたおやつは、焼き芋、クレープ、じゃりパン、ふくれなど！

■植田 ゆかり
厚生労働省職業安定局高齢者雇用対策課所属。新潟県出身。趣味は映画鑑賞。特技は目をつぶったままピアノを弾くこと。

■相馬 佳菜子
外務省国際協力局地球規模課題総括課所属。長野県出身。趣味はグーグルマップでおいしいお店を探すこと。特技は中国語・道案内。

■小西 廉延
農林水産省経営局就農・女性課所属。愛知県出身。野球観戦が好き（小学校1年生～大学生までプレーヤーでした）。



くしま
串間



参道の中腹で姿を現す巨大な二本の杉。まるで門のように参拝者を迎えます。

御崎神社は、都井岬最南端に奉祀されている神社で、長い間航海安全の守り神として信仰されました。その昔、都井岬の沖合は船が遭難しやすい難所であり、暗夜に船が暗礁のある危険な方向へ進もうとすると、その方角から大きな音がしたり、怪しい火が飛んできたりして航海の安全を守っていましたという伝説もあります。初日の出を見るスポットとしても人気があり、正月三が日は社務所が開かれ、御朱印やお守りが販売されます。また、御崎神社一帯は亜熱帯植物「ソテツ」が3000本ほど自生しており、昭和27年には国の特別天然記念物に指定されています。

御崎神社

御崎神社は、都井岬最南端に奉祀されている神社で、長い間航海安全の守り神として信仰されました。その昔、都井岬の沖合は船が遭難しやすい難所であり、暗夜に船が暗礁のある危険な方向へ進もうとすると、その方角から大きな音がしたり、怪しい火が飛んできたりして航海の安全を守っていましたという伝説もあります。初日の出を見るスポットとしても人気があり、正月三が日は社務所が開かれ、御朱印やお守りが販売されます。また、御崎神社一帯は亜熱帯植物「ソテツ」が3000本ほど自生しており、昭和27年には国の特別天然記念物に指定されています。



見頃を迎えました

彼岸花



都井岬(10月上旬まで)



41回 福島港
花火大会
10月6日(日)
荒天時 13日
くしま活性化委員会
☎72-0053



ハロウィンナイト
in くしまん夕市
10月26日(土)
17:00~20:00
道の駅くしま イベント広場
串間市観光物産協会
☎72-0479